

阿波十郎兵衛屋敷人形浄瑠璃

阿波人形浄瑠璃：徳島ならではの人形劇を体験し学ぶことができ、劇場と博物館が複合された場所です。重要文化財に指定されており、読み聞かせ・音楽・人形芝居を組み合わせた芸術です。阿波は徳島県の旧称で、人形浄瑠璃は「puppet theater」を意味します。

阿波十郎兵衛屋敷人形浄瑠璃では、地元の人形劇団による公演が毎日 1～2 回行われています。

隣接する展示室では、人形や衣装、舞台芸術の歴史などを知ることができ、人形の操りにも挑戦できます。施設には、かつて板東十郎兵衛（1646-1698）という村長のかつての邸宅にあり、彼の伝統的な庭園があります。

農村地域のルーツ

徳島の人形浄瑠璃のルーツは、日本主流の人形浄瑠璃である文楽にあります。しかし、阿波人形浄瑠璃は屋外の舞台上演されることが多かった為、遠くからでも見やすいように、大きな人形を使っていました。キャラクターの年齢や性別にもよりますが、人形は実物大の半分から 3 分の 2 のサイズになります。また、文楽に使用される人形はマットな仕上がりで塗装されているのに対し、阿波人形浄瑠璃の人形は艶やかな光沢塗装されているのが一般的です。

阿波人形浄瑠璃は、淡路島から徳島県北部にやってきました。徳島藩祖である蜂須賀家政（1558～1638）は、人形浄瑠璃を楽しみ、広く普及させました。しかし、この芸術を真に受けて自分たちのものにしたのは、農家の人たちでした。江戸時代（1603-1868）後期には、島から訪問してきた団体に魅了された徳島のアマチュア団体が、屋外舞台上で公演を行っていました。これらの舞台は神社の境内にあるのが一般的で、地域住民が神へのお供えとして人形浄瑠璃を上演していました。徳島県には現在も約 80 の屋外舞台が残っています。

やがて、藍産業の繁栄や、阿波人形浄瑠璃の愛用者となった裕福な商人たちの恩恵を受けて、人形浄瑠璃は県内全域に広まりました。また徳島は、淡路島のプロの劇団や地元のアマチュア劇団に人形を提供する才能ある人形メーカーがいる場所としても評判となりました。東京や大阪などの大都市で映画や現代演劇が当たり前になったにもかかわらず、この劇場は地元で人気を博していました。しかし、最終的には、1930 年代からのこのようなエンターテインメントの普及と、1940 年代の第二次世界大戦のエスカレートと相まって、観客は減少しました。この頃、徳島のほとんどの劇団は解散しました。

人形浄瑠璃は、20 世紀後半に学校教育に導入され、若い世代が興味を持ち始めたことで復活しました。現在も、阿波十郎兵衛屋敷で行われている毎日の公演の他に、屋外舞台でも定期的に

公演が行われています。徳島では現役の人形師が約 40 人活躍しており、全国の劇団の人形頭を製作しています。

パフォーマンスはチーム力

阿波人形浄瑠璃では 3 人のチーム体制で各主役の人形一体を操ります。人形師長は頭と右手と腕を担当し、他の 2 人は人形の足と左手と腕を操作します。自然な表情とリアルな動きができるような仕掛けになっています。人形は口を開けたり閉じたり、眉毛を上げたり下げたり、手を動かして様々な仕草をすることができます。男性キャラクターと女性キャラクターの年齢、性格、社会的立場などを表す様々なキャラクターの頭部が 70 種類あります。頭の長さは最大 18 センチにもなることもあります。カツらは人毛とヤクの毛の両方を利用しています。

人形遣い師は通常、目立たせない為に黒一色の服を着ます。人形師長は、他の 2 人よりも高い位置に立つ必要がある為、音を吸収するために藁でできた底の高い木の下駄を履いています。

阿波人形浄瑠璃では、ナレーターと三味線（三弦の和楽器）の演奏も行われます。ナレーターは、舞台の右側から観客と向き合いながら物語の要求に応じて、登場人物の感情を伝え、ドラマチックに笑ったり泣いたりします。ナレーターの前にある重厚な木の台の上には、台本のコピーが置かれています。三味線奏者は、演奏全体を記憶に留め、演奏の進行に合わせて適切なムードを作ります。

不朽の家族ドラマ

最も有名な阿波人形浄瑠璃劇は、脚本家の近松半治（1725-1783）が、劇作家の近松門左衛門(1653-1725)の夕霧阿波鳴渡（*Yugiri and the Awa Whirlpool*）から翻案した傾城阿波の鳴（*The Tragedy of Naruto*）です。1768 年に大阪で初演されたこの作品は元々 10 段から構成されていますが、現在は主に 8 段が上演されています。「順礼歌の段」と「十郎兵衛内の段」の 2 つのドラマに分かれています。どちらも、十郎兵衛、妻のお弓、娘のおつるの三人家族のサブプロットで構成されています。

母と娘の感動的な交流で知られる最初の場面であり、阿波十郎兵衛屋敷人形浄瑠璃で見られることの多い作品です。英訳されたスクリプトも用意されています。